19 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

砂公開特許公報(A)

昭62-92858

Int Cl.

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和62年(1987) 4月28日

B 41 J H 05 K 3/20 1/11 110

8004-2C D-6679-5F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

の発明の名称

サーマルヘツド

②特 願 昭60-231167

砂出 72 昭60(1985)10月18日

⑫発 明 者 Ш \blacksquare

横浜市戸塚区戸塚町216番地 株式会社日立製作所戸塚工

場内

株式会社日立製作所 ①出 顋 人

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

の代 理 人 弁理士 小川 勝男 外1名

- 発明の名称 サーマルヘッド
- 特許請求の範囲
 - 表面に少なくとも発熱抵抗体列と配線パタ ーンを形成した基板と、信号接続端子を有す るFPCとの間のはんだ付け接続部に、信号 接続端子はんだ付け部のほかにダミー接続部 を設けてなるサーマルヘッド。
 - 2 上記ダミー接続部は3個所以上に設けた特 許請求の範囲第1項記載のサーマルヘッド。
 - 上記ダミー接統部は他の信号接続端子はん だ付け部よりも大きな面積に形成した特許請 求の範囲第1項または第2項記載のサーマル ヘッド。
 - 4. 上記基板は駆動ICを搭載した特許請求の 版图第 1 項または第 2 項または第 5 項配載の サーマルヘッド。
- 発明の辞紙な説明
 - [発明の利用分野]

本発明は膨熱記錄用のサーマルヘッドに係り、

特に基板とFPC(フレキシブル、ブリンテド. サーキット)のはんだ登録に好適な博造を有す るサーマルヘッドに関する。

〔発明の背景〕

従来のサーマルヘッドの記録機が大きくなる と必然的に基板とFPCの接続幅も大きくなる。 このため基板を構成するセラミックとFPCを 構成するポリイミドと熱影優差により、はんだ 付け接続部に加わる熱応力も大きくなって、接 接部のはがれが発生する恐れがあった。このた め従来からサーマルヘッドの各尺化に対し、基 板とFPCのはんだ付け提続品に加わる応力低 蔵対策がなされていて、たとえば特公昭 52 一 9542 号公報に記載のFFCのフィルムに切込 み部を設ける構造などが知られている。しかし ながらこのような従来のサーマルヘッドにはF PCの幅が大きくなるなどの問題があった。

〔希明の目的〕

本発明の目的は上記した従来技術の問題点を 解決し、基板とFPCのはんだ付け接続部の信 領性を向上できるサーマルヘッドを提供するに ある。

〔発射の概要〕

本発明は上記目的を達成するため、基板とFPCのはんだ付け接続部の一部に好ましくは 5 他所以上のダミー接続部を設け、このダミー接続部に熱応力を受けさせて各信号端子はんだ付け郎に加わる熱応力を疑和するようにしたサーマルヘッドである。

〔発明の実施例〕

以下に本税明の一実施例を釣1 図および第2 図により説明する。

[発明の効果]

以上に説明したように本発明によれば、サーマルヘッドの基板とFPCの無影器差により発生するはんだ付け接続部の無応力をダミー接続部で受け、各個号端子はんだ付け部に加わる無力を低減することが可能となり、基板とFPCのはんだ付け接続部のはがれをなくして信頼性向上に寄与できる。

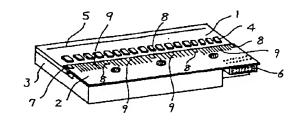
4 図面の簡単な説明

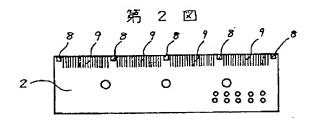
第1 図は本売明によるサーマルヘッドの一 実施例を示す斜視図、第2 図は第1 図の FP C の平面図である。

- 1 … 基板
- 2 ... F P C
- 8 … ダミーはんだ付け部(ダミー接続部)
- 9…信号婚子はんだ付け部

このようにして本実施例によれば、サーマルヘッドの基板!とドPC2のはんだ付け接続部の一部に好ましくは3個所以上のダミー接続部8を設け、好ましくはぎミー接続部8の面積を信号端子はんだ付け部9よりも大きくして、これに熱応力をかけさせることにより各信号端子はんだ付け部9の接続信頼性を向上できる。

第1四





代理人弁理士 小 川 歸 男